



教育目標 やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっ子”

多くのことを感じ学んだ東京日本橋での須賀川・稲田PR活動

9月11日(火)、8年生は東京方面への学習旅行で、東京日本橋にある福島県のアンテナショップ「日本橋ふくしま館」において、須賀川・稲田のPR活動を行ってきました。

このPR活動は須賀川市観光交流課の協力のもと、代表生徒10名が稲田中学校の松明あかし用のハッピをまといながら、自分たちが作った須賀川や稲田学園を紹介する新聞形式のチラシや須賀川市の観光パンフレットを配布したり、店内での須賀川市の農産物や特産品の販売のお手伝いをしたりしました。

はじめは緊張して戸惑っていた8年生でしたが、次第に慣れてきて大きな声を出して呼びかけたり、笑顔でパンフレットを配ったりする姿や、積極的に試食をすすめる姿が見られました。PR活動を終えた生徒にはやりとげた達成感や満足感が見られました。

来春の関西方面での修学旅行でも、須賀川・稲田のPR活動を予定しています。

PR活動を行った代表生徒の感想を紹介します。



笑顔でパンフレットを配る8年生



須賀川の特産物の販売を手伝う8年生

「ミデッテでのPRについて」

8年1組 小抜 明愛

私は、東京での学習旅行で日本橋のミデッテというところで、須賀川市のPRをしました。初めは少し緊張と不安がありましたが、PR活動を始めると不安などがなくなり、ミデッテの前を通る人にスムーズに声をかけられるようになりました。中には受け取ってくれる人、興味をもって店内に入ってくれた人、受け取ってくれなかった人がいました。

東京で自分の地元のPR活動ができて本当に良い経験をすることができました。店内では、試食を勧めたり、「おいしいきゅうりです。」など呼びかけなどをしたりしました。今回のPR活動で、東京の人に須賀川市をもっと知ってもらえたらいいなという思いに大きく変化しました。そして、自分も福島や須賀川のことをもっと知ることができて、とても良い思い出になったPR活動をすることができました。

「日本橋ふくしま館でのPR活動」

8年2組 添田 歩夢

今回の学習旅行での日本橋ふくしま館「MIDETTE」での須賀川のPR活動は、とても有意義な時間だったと思います。

まず、たくさんのお客さんと呼び込めたことです。持って行ったパンフレットや新聞を全て配れましたし、PRは大成功だったと思います。最初はここまでうまくいくとは思いませんでしたが、だんだんと慣れてきて、どちらの班も最後は上手にPRすることが出来たと思います。中には、福島出身で息子が郡山に住んでいるため、月に1回「MIDETTE」に来ている人もいました。

是非来年の学習旅行でも、東京で同じようにもっと活発にPR活動をしてもらいたいと思いました。この活動を、稲田学園の新たな伝統として、引き継いでいって欲しいなと思いました。普段の稲田学園のあいさつの成果を出してきてもらいたいと思います。



稲田学園ホームページ <http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/> 稲田学園
←左のQRコードからもご覧になれます。

各学年校外学習が行われています

9月に入り、稲田学園では多くの学年で校外での学習が盛んに行われています。1・2年生はカルチャーパークで、3年生は会津若松市内でそれぞれ見学学習を行いました。さらには4年生は菜の花プロジェクトの環境学習や校外学習で施設見学、5・8年生はキャリア教育の一環として専門学校（岩瀬農業高・清陵情報高）での体験学習、7・8年生は学習旅行と、それぞれの学年で普段の学校生活では体験できない貴重な学習を行っています。お子さんから詳しいお話を聞いてみて下さい。



カルチャーパークで記念撮影する1年生（左）と2年生（右）



ランドセルメーカー前で記念撮影（3年生）



菜の花Pで菜種を植える（左）衛生センターの説明を受ける4年生（右）



岩農でパンジーの鉢植えをする5年



岩農で牛の体を洗う8年生



鶴ヶ城前での記念撮影（7年生）



国立科学博物館での記念撮影（8年生）

松明あかし茅刈り・オリエンテーションが行われました

9月8日（土）に松明用の茅刈りが行われました。当日は早朝のPTA親子奉仕作業に引き続いての作業となりましたが、松明づくり協力会、稲田公民館、日本工営の皆様やPTA役員・9年生保護者、9年生及び教職員合わせて80名近い方々に参加していただけて行われました。

毎年ご協力いただいている公民館職員の方から「たくさんの人が参加し、今までにもっともスムーズな茅刈りだった」とお褒めの言葉をいただきました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

また9月10日（月）、協力会の有馬秀明会長さんに来校していただき、9年生の総合学習の時間に松明あかしの歴史や稲田中学校が参加するようになった経緯などを講演していただきました。

松明あかしに稲田中が参加して今年で16年目になりますが、初めて参加したときから稲田中の応援は抜きんでいたとのこと。今年は稲田学園として開校後の初めての松明あかし参加となりますので、先輩方の稲田魂を受け継ぎながらも初となる「稲田学園松明」を完全燃焼させてほしいと思います。

今後、10月6日（土）竹切り・竹運び・茅運び、10月27日（土）松明製作を行って、松明あかしに参加する予定です。皆様のご協力をお待ちしております



茅刈り作業後、全員で記念撮影



有馬秀明さんの講話